

スポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値に関する一考察

(ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟) 金子 俊之

キーワード：社会的価値評価・SROI・スポーツ鬼ごっこ

著者略歴：埼玉県スポーツ鬼ごっこ連盟代表理事、ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟理事として地域のスポーツ鬼ごっこ普及活動に主導的に携わる。IOA 公認 2 級ライセンス指導員・審判員/技術士（総合技術監理部門・建設部門）

1. 研究背景

- 社会的企業や団体が行う非営利的活動の投資可能性を測る SROI(Social Return on Investment：社会的投資収益率)は、どのような資源を投入することにより（インプット）、どのような結果が生まれ（アウトプット）、最終的にどのような社会成果（アウトカム）につながるか、ロジックモデルの枠組みで事業の社会的価値を分析するものである。
- SROI 手法は、財務的評価のみでは測れない活動の社会的価値について、コミュニケーションを通じて定量的に評価できることが特徴である。
- 既往研究では、金子が SROI 手法によりスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価の算出を試みている。[1][2]
- 本研究では、ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟の活動を対象として、SROI 手法を活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価を実施するとともに、3年間の活動継続による経年的な社会的価値の変化についても考察する。

2. 課題設定

- 従来の遊びの鬼ごっこに戦術や戦略を要するルールを加えた「スポーツ鬼ごっこ」は、幅広い世代が運動能力に関係なく誰でも気軽に参加できる楽しさと競技性の高さが両立しており、その魅力から全国各地で広がりを見せている。
- スポーツ鬼ごっこ活動を地域で持続させるためには、参加者だけが楽しむだけのコミュニティに留めず、多様な社会的価値を創出する団体として、地域社会に受け入れられることが求められてくる。そのためには、スポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値を評価する手法の確立が必要である。

さらに、活動内容を充実させることは、運営側の資源（ヒト・モノ・カネ）を増大させるということになる。これら事業に投入される資源の増加に対して、事業が生み出す社会的価値も適切に増加しているかの検証も必要となる。

3. 研究方法

- 本研究では、SROI 手法の考え方に基つきながら、アンケート調査を主体とした簡便的な評価手法によって、社会的価値の算出を行った。
- 具体的には、ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟の 2017 年から 2019 年までの 3 年間で実施された全ての活動内容、参加人数、活動収入、経費等を整理した。さらに、直接費用に加えて、ボランティアや無形資産投入もコスト換算した。次に、参加者へのアンケート調査により、活動によって達成された成果をアウトカムとして定量化することで、貨幣換算化されたインプットに対するアウトカムの比率を SROI 値として求めた。

4. 分析・考察

- スポーツ鬼ごっこ活動によって期待できる効果は、「健康増進」や「スポーツ文化の醸成」が高く、活動を継続することで「居場所づくり」「世代間交流の促進」「地域コミュニティの形成」がより高まり、「親子や家族の交流」がやや低くなる傾向が確認できた。

表 スポーツ鬼ごっこ活動によって期待できる効果(経年変化)

期待できる効果	寄与率 (2017年)	寄与率 (2018年)	寄与率 (2019年)	2017年から の増減
健康増進	94.6%	95.6%	91.2%	-3.4%
スポーツ文化の醸成	94.6%	92.6%	87.5%	-7.1%
親子や家族の交流	94.6%	92.6%	77.9%	-16.7%
居場所づくり	82.1%	94.1%	88.2%	6.1%
地域コミュニティの形成	82.1%	88.2%	84.6%	2.5%
世代間交流の促進	83.9%	92.6%	86.8%	2.9%
青少年の健全育成	83.9%	88.2%	81.6%	-2.3%
競技者や指導者としてのレベルアップ 生きがいづくり	85.7%	83.8%	75.7%	-10.0%
		83.8%	83.8%	-1.9%

*寄与率は、そう思うを100%、どちらとも言えないを50%、そう思わないを0%としたときの割合

資料：ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟アンケート調査(2017年：N=14、2018年：N=17、2019年：N=34)

- ・スポーツ鬼ごっこをはじめてからの変化をみると、**外面的変化では「運動する頻度・時間」「地域内の知り合い・一緒に過ごす時間」、内面的変化では「視野の広さ」「考える力・創造力」**がそれぞれ高くなっており、競技志向者になるほどその傾向が顕著となっている。

表 スポーツ鬼ごっこをはじめてからの変化

変化項目	全体 (N=34)	競技志向者 (N=19)	差	
頻度や時間など外面的変化	運動する頻度・時間	64.7%	76.3%	11.6%
	地域内の知り合いと一緒に過ごす時間	47.1%	68.4%	21.4%
	外出する頻度・時間	44.1%	60.5%	16.4%
	家族や仲間と会話する回数・時間	42.6%	57.9%	15.2%
	市内での滞在時間	35.3%	55.3%	20.0%
能力や思考など内面的変化	視野の広さ	51.5%	71.1%	19.6%
	考える力・創造力	51.5%	68.4%	17.0%
	コミュニケーション能力	47.1%	57.9%	10.8%
	持久力	50.0%	55.3%	5.3%
	敏捷性	44.1%	52.6%	8.5%

*寄与率は変わらないを0%、向上した(増加した)を50%、かなり向上した(かなり増加した)を100%としたときの割合
*競技志向者は大会出場や継続的な練習などを行うラティエ所属
資料:ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟アンケート調査

- ・活動が有料だった場合の平均支払意思額は約 **2,300 円/月**となり、これを元に算出した収入見込額は 77,000 円/月と活動拡大にあわせて年々増加している。

表 スポーツ鬼ごっこ活動が有料だった場合の支払意思額(月額)(経年変化)

	支払意思額 (2017年)	支払意思額 (2018年)	支払意思額 (2019年)	2017年との増減割合
月額平均(円)	¥1,179	¥2,618	¥2,279	1.9
回答者数	14人	17人	34人	2.4
年間活動回数	19回	59回	123回	6.5
活動収入見込額=月額平均×回答者数	¥16,506	¥44,506	¥77,486	4.7

資料:ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟アンケート調査

- ・SROI 手法に基づき、活動の資源と社会的価値の貨幣換算化を行った結果、事業に投入される資源(インプット) 941,820 円に対し、事業が生み出す社会的価値(アウトカム) 2,928,985 円となり、**投資に対し 3.11 倍の価値を有することを確認した。**
- ・経年変化をみると 2017 年と比較してインプットは 4.5 倍と増加、アウトカムは 6.1 倍とインプットの増加割合より大きくなっており、SROI も 1.4 倍に増加していることから、**社会的価値を維**

◆事業に投入される資源(ヒト・モノ・カネ) (分母の内訳)

関係者	投入資源 (インプット)	内訳	投入資源の金額(円/年)
スポーツ鬼ごっこ連盟	維持管理費 (備品・消耗品等)		105,480
	体育館使用料	一部は団体登録により無料	20,750
	参加者保険代	実費	190,590
	大会参加費		-
	ユニフォーム代	制度実費精算	-
	ライセンス更新料	2歳7000円×2名、3歳2000円×7名	26,000
	人件費 (体育館指運参加)	1,000円/回×12回/月	12,000
人件費(講師料)	5,000円/回×1名×123回	615,000	
		計	941,820

◆スポーツ鬼ごっこ活動のSROI(社会的投資収益率)

SROI =	事業が生み出す社会的価値(単位:円)
=	事業に投入される資源(ヒト・モノ・カネ)(単位:円)
=	2,928,985 円 (事業の成果を貨幣換算)
=	941,820 円 (事業の維持管理費、人件費等)
=	3.11 (投資1に対する社会的価値の割合)

◆事業が生み出す社会的価値 (分子の内訳)

関係者	活動内容 (アウトプット)	活動収入(円)	生じた変化 (アウトカム)	変化が生じた人数	貨幣換算の方法	寄与率	生じた変化の社会的価値(円)
参加者	体験会・練習会等の開催 (年間123回、平均17人参加)	561,000	気軽にスポーツに親しめる	17	平均支払意思額2,600円/月×12ヶ月	87.5%	464,100
			競技者としてのレベルアップ	17	1回あたり歩数4,200歩×貨幣換算係数0.061円/歩×123回	91.2%	486,671
			運動不足解消などの健康増進	17			
指導者			指導者としてのレベルアップ	17	シルバー人材センター年間登録費2,400円相当	83.8%	34,100
			自分の特技を活かせる場所が広がるなどの生きがい	17			
保護者			親子や家族の交流	17	お礼代500円相当×123回	77.9%	814,445
			青少年の健全育成	17	放課後児童クラブ1日あたり500円相当×123回	86.8%	907,494
			世代間交流の促進	17			
自治体			地域コミュニティの形成、居場所づくりなどの地域の活性化	1	市民活動支援補助金年間30,000円相当	88.2%	26,400
			スポーツ施設の有効活用	1	市営体育館使用料1,800円×123回	87.5%	195,725
国	活動支援、大会後援	-	スポーツ文化の醸成	-	今回は計測しない(スポーツ実施率等)	-	-
鬼ごっこ協会	鬼ごっこ関連各種事業の推進、地域連盟認定	-	スポーツ鬼ごっこの認知度向上	-	今回は計測しない(体験者数、導入団体数、大会参加者数等)	-	-
			公認ライセンス保持者の増加	-	今回は計上しない(ライセンス取得者数×登録費等)	-	-
		561,000					2,928,985

*ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟アンケート調査結果より

持したまま活動の継続拡大ができていると評価できる。

表 SROI(社会的投資収益率)の経年変化

	2017年	2018年	2019年	2017年からの増減割合
事業に投入される資源(インプット)	¥207,969	¥718,814	¥941,820	4.5
事業が生み出す社会的価値(アウトカム)	¥479,040	¥1,783,444	¥2,928,985	6.1
SROI(社会的投資収益率)	2.30	2.48	3.11	1.4

5. まとめと課題

- ・本研究では、SROI 手法を活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価を実施し、3年間の活動継続による経年的な社会的価値の変化を定量評価した。
- ・今後、評価手法を確立させていくためには、コミュニケーションによる評価実績を増やしていくことが有効である。
- ・SROI はスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価手法としての活用だけではなく、将来実施する事業、活動の目標や評価の枠組みを設定するためのツールとしても有効活用できると考えられる。
- ・また、活動年次ごとの社会的価値の評価結果を比較することで、効果的な事業計画づくりや持続可能な組織運営に貢献することを示唆した。

6. 謝辞

- ・本研究にあたり、各種調査にご協力頂いたふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟のメンバーに感謝の意を表します。

7. 引用・参考文献

- [1] 金子俊之, SROI を活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会的インパクト評価の試行, 第1回鬼ごっこ総合研究所研究発表大会, 2018. 3
- [2] 金子俊之, SROI 手法を活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価, 第2回鬼ごっこ総合研究所 研究発表大会, 2019. 3